

主要施策名:(1)道路交通体系の整備

事務事業本数:6

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(1)道路交通体系の整備	(1)広域交通ネットワークの整備	411-1	道路改良推進事業	土木課
		(2)生活道路網の整備	412-1	道路維持事業	土木課
			412-2	道路新設改良事業	土木課
			412-3	防災・安全交付金事業(道路)	土木課
			412-4	橋りょうメンテナンスサイクル事業	土木課
		(1)広域交通ネットワークの整備	411-3	社会資本整備総合交付金事業(道路)	都市整備課

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市道認定に関する業務	市道の認定及び廃止等の処理を行う。	議案提出回数	回	2	2	1	2
② 期成会等負担金支出業務	負担金を支出することにより業務の遂行を図る。	負担金支出回数	回	6	6	6	6
③ 道路台帳修正業務委託事業	道路台帳の修正業務を行う。	市道修正路線件数	件	91	103	90	90

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(道路台帳修正延長)	8	15	10	10			
投入コスト合計(千円)	10,833	13,139	26,118	9,561				
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,354	876	2,612	956				
コスト評価(対前年比)	***	154.59%	(↑)	33.54%	(↓)	273.17%	(↑)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 道路台帳修正実施率	道路台帳の修正延長/市道認定(廃止)延長	%	100	100	100	100
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	妥当性評価	
	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	b			
<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる				
<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている				
<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない				
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	効率性評価	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	a			
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した			a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない			b
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる			
	<input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい			
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している			
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】			
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) [24]			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	道路台帳修正業務委託事業においては、当該年度道路新設・改良された部分全ての修正委託業務であるので、現状のまま継続とする。 また、他団体と共同で行う期成会活動は、国道等の早期整備や生活道路の改善には必要であるので、現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	評価責任者
道路管理をする上で道路台帳の整備は必要不可欠であるため、最新の情報にしておくために今後も継続して行う必要がある。	田代史典

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所	箇所	85	151	168	170
② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を行う。	市道除草委託業務面積	m ²	304761	306370	357067	369312
③ 道路維持工事請負事業	劣化等した道路工事を行う。	工事件数	箇所	8	41	26	26

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	326,526	359,608	396,850	349,483				
対象1単位あたりのコスト(千円)	5	5	6	5				
コスト評価(対前年比)	***	90.35%	(↓)	90.09%	(↓)	112.65%	(↑)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 市道舗装工事延長	舗装工事を行った延長	m	—	—	2741	3500
			2017.8	3714.3	3603.2	
2 未登記関係処理件数	未登記関係の処理件数	件	5	5	8	15
			8	8	16	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	要望箇所について、計画的に修繕、工事を行った。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	道路利用者への良好な交通環境を維持するため、要望箇所については計画的に修繕、工事を引き続き行っていく。未登記関係についても計画的に処理を進めていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	道路維持は、通行の安全を守る上で特に重要な事業であり、今後も永続的継続する必要がある。	評価責任者 田代史典
-------------------	---	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市道新設改良設計委託事業	現道の測量・計画路線の設計を委託する。	委託発注件数	件	26	30	31	5
② 市道新設改良事業	道路改良工事を発注する。	工事発注箇所数	箇所	22	37	28	22
③ 市道新設改良工事用地購入事業	計画路線に伴う用地の買収を行う。	用地買収件数	件	56	68	60	60

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(整備路線数)	22	37	28	22			
投入コスト合計(千円)	353,344	550,210	407,782	307,504				
対象1単位あたりのコスト(千円)	16,061	14,871	14,564	13,977				
コスト評価(対前年比)	***	108.01%	(↑)	102.11%	(↑)	104.19%	(↑)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	30	28	28	22
			22	37	28	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	事業実施優先度の選考基準の検討を行っていったが、内容等の検討が実施できなかった。要望に対する優先度を明確化し効率的な整備推進を図っていく必要がある。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	要望の事業化に向け、道路網再編検討業務の見据えて、道路整備要望に対する明確な優先基準や実施基準等の検討を行っていく必要がある。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	事業実施する上で優先度等の透明性を確保するため、マニュアル等の整備を検討する必要がある。	評価責任者 田代史典
-------------------	--	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 防災・安全交付金工事請負事業	損傷の進行が早い道路に対し処置(舗装工事)を行う。	工事発注件数	件	8	0	0	10
② 防災・安全交付金委託事業	道路メンテナンスサイクルを構築し、道路維持管理のサービス水準を維持するため、現道の路面性状調査及び構造調査等の委託する。	委託発注件数	件	1	0	0	3
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算								
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)						
		67577	1	***	67242	0	2098.67%	(↑)	66850	0	63.58%	(↓)	66319	2	3.81%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	12	0	0	10
2			8	0	0	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	県担当者の錯誤によって前回の補助事業に手を上げることができなかったが、計画的に事業を行っているため、見直しは特にない。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	交付金要望額に対して配分額が厳しい現状であり、高額な基礎資料収集が必要となる本事業を継続して行っていく価値が低くなっている。そのため今後費用負担の少ない起債事業に移行していく予定である。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	国費の要望額に対して配分額が厳しい現状であるため、今後は費用負担の少ない起債事業に移行していく予定である。	評価責任者 田代史典
-------------------	---	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 橋梁補修及び補強工事事業(措置)	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の橋梁に対して、診断から5年以内に措置を完了する。	診断Ⅲ以上の橋梁数に対する措置完了橋梁数	橋	3/0	11/0	28/0	31/1
② 橋梁補修設計及び調査業務委託(措置)	交付金を活用して橋梁補修・補強工事を行うために必須条件となる設計業務委託を行うものである。	業務委託発注数	本	1	5	7	1
③ 点検・診断事業	省令告示により義務化された近接目視による点検を行い診断する業務	全体橋梁数における点検診断の進捗率	%	61/60	84/80	100/100	20/20

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民)	67577	67242	66850	66330			
投入コスト合計(千円)	111,261	178,917	185,521	232,204				
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	3	3	4				
コスト評価(対前年比)	***	61.88%	(↓)	95.88%	(↓)	79.27%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 毎年国が道路メンテナンス年報として公表している修繕着手率(%)	修繕着手率は診断Ⅲ以上の橋について、補修設計の着手も含めて着手しているかの指標	%	—	—	63	80
2 点検により早期措置段階と診断された橋梁の措置件数	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の劣化橋梁を対して、一般的なレベルの措置が完了した橋梁数	橋	0	0	0	1
			3	11	28	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価	
	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	b			
<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる				
<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている				
<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない				
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b			
<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある				
<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
<input type="checkbox"/> ・効果指標を設定している				
<input checked="" type="checkbox"/> ・効果指標の目標値を達成した				
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	a			
<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している				
<input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している				
<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある				
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(道路法による自治体の義務事業のため) 【24】	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	全国的な橋梁メンテナンスサイクルの進捗状況を把握するため、国土交通省が公表している指標を数値目標の算定数量とする見直しによって、成果数量の整合性を図った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	国土交通省本省や有識者から先進事例として評価を得ている本事業は、一般的に参考とする専門示方書の範囲以上の先進的な研究や技術を実装している。この現状は本来専門有識者の範疇に位置するため、本事業の評価および分析を、専門知識を有する有識者と長期にわたり検証する必要がある。この検証こそが地域住民へのアカンタビリティーの責務である。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 来年度より大学等の有識者と連携して、本事業の評価および分析を行う。 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	道路の重要構造物である橋梁事業は、道路法に基づき永続的に行う必要がある。	評価責任者 田代 史典
-------------------	--------------------------------------	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 岱明玉名線道路整備事業(補助)	本線、国道、県道、JR橋等の工事を行う。	整備延長	m	93	215	0	0
② 河崎迫間2号線道路整備事業(補助)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	0
③ 岱明玉名線道路整備事業(単独)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算		
	対象(整備延長の合計)	93	215	0	0		
	投入コスト合計(千円)	255,754	456,027	438,906	829,357		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	2,750	2,121	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	129.65%	(↑)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 岱明玉名線の整備率	計画整備率(事業費ベース)	%	57.3	72.2	80.0	90.4
2 小浜繁根木線・松木14号線・竹崎1号線の整備率	全体計画整備率(事業費ベース)	%	67.3	100	71.7	
			69.9	100		

* 成果未達成時の理由 平成29年度発注の盛土工事で地盤沈下にかかる日数が想定より大幅に超えたために、H30年度発注工事が遅延し最終的には繰越を行ったため、H30目標に対しH30実績が未達成となった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	近接工事や関係機関との協議で、工程の調整を綿密に行い施工が遅延しないよう注意する。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	岱明玉名線については、平成32年度の完成に向けて継続する。 前田東線は、費用対効果を十分検討し、事業化の可否を決定したい。 河崎迫間2号線は、補助事業採択に向けて、熊本県と協議を進めていきたい。 中無田線は、新玉名駅周辺整備に伴う重要な路線のため継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	R3年3月完成を目指し、事業の進捗を加速させる。	評価責任者 片山敬治
-------------------	--------------------------	---------------